

｜特集1｜ AIは、ぶどう農家の“相棒”になれるか。

山梨大学のスマート農業最前線

｜特集2｜ 工学部100周年記念
共創環境棟が完成！

｜人物発掘｜大学院 総合研究部 教育学域 障害児教育講座
永田 真吾 准教授

｜ゼミ紹介｜医学部 疫学講座

｜pick up Lesson｜造形計画演習（映像メディア表現を含む。）

｜クローズアップビジュアル｜池上 翔一郎
（生命環境学部 生命工学科4年生）
志賀 史佳
（工学部 工学科 応用化学コース2年生）

｜サークル紹介｜甲府キャンパス大学祭実行委員会
水泳部

｜学生広報スタッフがリポート｜梨っ子大集合！
オキニアイテム徹底調査

｜UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS&TOPICS｜

AIは、ぶどう農家の
“相棒”になれるか。

山梨大学の スマート農業最前線



山梨県は、ぶどう、もも、すももの生産量・品質ともに日本を代表する「フルーツ王国」です。近年は、こうした高品質な日本産果実が海外でも注目を集めています。

その一方で、農業の現場では生産者の高齢化や担い手不足が進み、熟練農家が培ってきた技術の継承や、作業の省力化・自動化が大きな課題となっています。

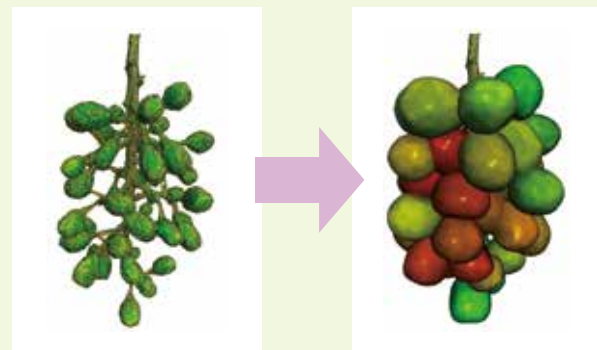
山梨大学では、最先端のAI (Artificial Intelligence: 人工知能)、AR (Augmented Reality: 拡張現実) およびロボット技術を融合し、熟練農家の技能を学習・継承する次世代スマート農業技術の研究開発を進めています。果樹栽培の高品質化と省力化を両立し、日本農業の持続的な発展に貢献することを目指しています。

大学院の学生たちに 研究

名 前 ヨキン カビン さん
所 属 工学専攻 博士課程 3年
出 身 タイ



私は、現実世界において実用的な価値を提供するアプリケーションの開発に情熱を持っています。特に、社会がより高度な自動化へと進化している点に強い関心があり、この流れに有意義な形で貢献したいと考えています。



カメラの映像からぶどうの房の3Dモデルを生成し、成長シミュレーションにより摘粒対象を推定

名 前 田村 駿 さん
所 属 工学専攻 博士課程 1年
出 身 長野県諏訪市



現在、山梨大学の博士課程（社会人博士）に在籍し、「農業×AR（拡張現実）」の可能性について研究を進めております。実社会の課題解決に直結するAR技術を開発し、農業の未来をより豊かで魅力的なものへと変革していくことに、非常に大きなやりがいを感じております。



AIで摘粒対象を判別し、摘粒すべき粒を視覚的に示すぶどう摘粒支援用スマートグラス技術

への想いを聞きました！

名 前 武井 英樹 さん
所 属 工学専攻 修士課程 2年
出 身 山梨県山梨市



VR技術を活用したブドウ摘粒トレーニングシステムの開発を通して、農作業の効率化や技術継承に貢献できるよう取り組んでいます。山梨県出身として、地域産業である農業に貢献できる研究に携われたことを大変嬉しく思っています。この研究で得た経験を生かし、今後も地域や社会に役立つ技術の開発に挑戦していきたいと考えています。



仮想空間上で摘粒の練習ができるVR摘粒トレーニングシステム（山梨市との共同研究）

名 前 ハシバタ テンギスボロド さん
所 属 工学専攻 修士課程 1年
出 身 モンゴル



モンゴル国立大学で電子工学の学位を取得し、ロボット設計の基礎を築いた後、2025年に来日しました。現在は山梨大学の修士課程に在籍し、茅暁陽 教授の指導の下、最先端のロボティクス・プロジェクトに参加する機会をいただいています。将来は、エンジニアとしての専門知識を活かし、日本とモンゴルの懸け橋になりたいと考えています。



カメラの画像を用いて、畑の環境やぶどうの房をリアルタイムに認識

新しい学びと
出会いが
生まれる場所

工学部 100周年記念

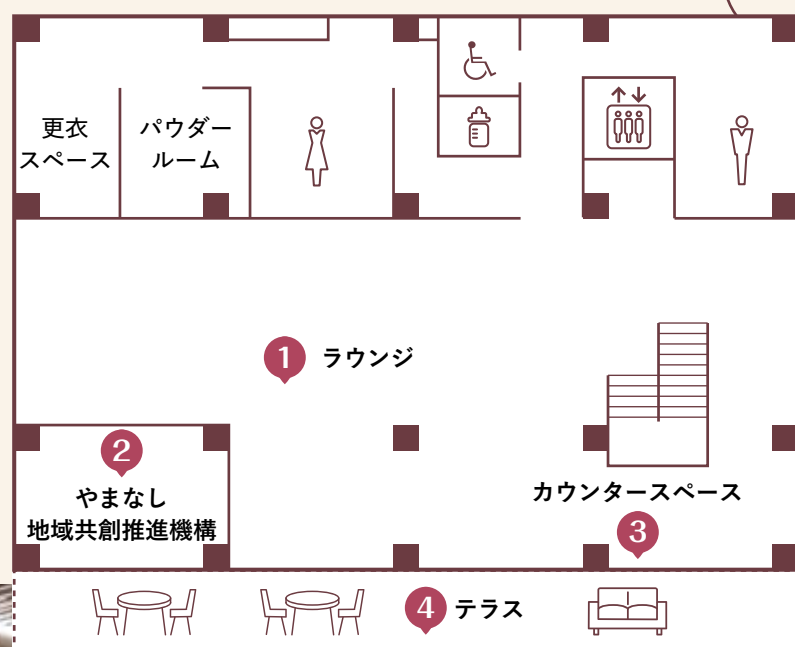


山梨大学・甲府キャンパスに、工学部創立100周年記念事業の一環として、学部や大学の枠を超え、学生・研究者・企業・地域の人々がつながる拠点となる「共創環境棟」が誕生しました。

館内には、自由にアイデアを語り合える交流スペースや、イベントや講義に利用できる多目的ホールを完備。学生同士はもちろん、さまざまな人との出会いや新しい挑戦が生まれる場として期待されています。

1 ラウンジ

ミーティング、グループワーク、学習など、さまざまな用途にご利用いただけるオープンスペースです。複数のエリアを備えており、目的に応じて幅広くご利用いただけます。



2 やまなし地域共創推進機構



産官学金言連携の拠点として事務室を設置。

共創環境棟 完成!

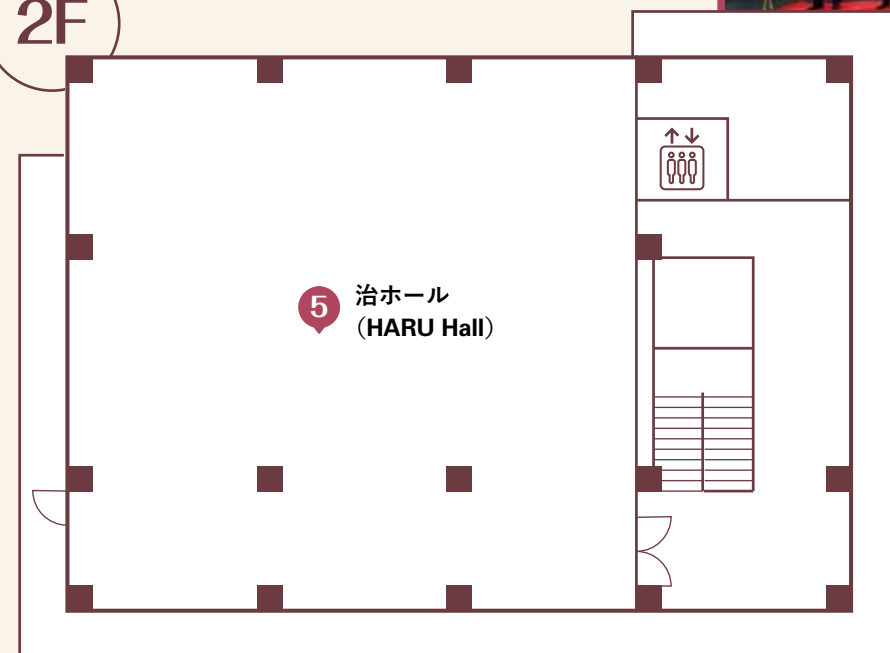
利用時間

平日：午前8時30分～午後9時
土日祝日：午前8時30分～午後6時
※但し、年末年始は休館となります。
※利用時間には準備・片付けを含んでおります。
※土日祝日のご利用には予約が必要です。

6月30日に竣工記念式典を行い本格始動しました。
※詳しくはP14へ



2F



5 治ホール (HARU Hall)



3 カウンタースペース

窓辺に設けられたカウンター席です。外の光を感じながら一人で集中して作業や学習ができます。

この棟には学生も
管理・運営に
携わっています



4 テラス

ソファ・イス・テーブルを配置した開放的な、24時間自由に使用できる屋外スペースです。



講演会、展示会、研修会などに対応可能な多目的ホールです。テーブル付き可動式のイスを250脚備え、スクール形式やグループ形式など、用途に応じたレイアウトでご利用いただけます。

専門分野 特別支援教育
学位略歴 修士(教育学)
1999年 大阪府立工業高等専門学校機械工学科 中途退学
2005年 熊本大学教育学部養護学校教員養成課程 卒業
2007年 筑波大学大学院修士課程教育研究科障害児教育専攻 修了
2010年 筑波大学附属大塚特別支援学校 講師
2012年 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科障害科学専攻 単位取得退学
2012年 聖徳大学児童学部兼任講師
2014年 学校法人アルウィン学園玉成保育専門学校保育学科 講師
2016年 国際学院埼玉短期大学幼児保育学科 講師
2019年 山梨大学大学院総合研究部教育学域 准教授
2023年 山梨大学学生サポートセンターアクセシビリティ・コミュニケーション支援室 室長(兼務)

子どもの強みを活かす学びの支援

研究者になったきっかけ

もともとエンジニアを目指し、大阪府立工業高等専門学校(現・大阪公立大学工業高等専門学校)で機械工学を学んでいました。ところが、学ぶうちに機械そのものよりも、人がどのように感じ、考え、行動するのかに関心が向くようになり、心理学を学びたいと考えて熊本大学教育学部へ進学しました。入学後は、養護学校(現・特別支援学校)教員養成課程に所属し、干川隆先生(熊本大学名誉教授)から障害のある子どもの心理や教育的アプローチを学びました。恩師の姿に触れ、研究を通して支援のあり方を考えたいと思ったこと

が、研究者を志した一番のきっかけです。当時は「特殊教育」から「特別支援教育」への転換期で、多様な子どもたちの学びや生活を支える方法と、その背景にある認知の仕組みに関心を持つようになりました。特に、テクノロジーを障害のある子どもたちの生活にどう活用できるのかに関心を持ち、自分の思いをこぼで表すことが難しい知的障害のある自閉スペクトラム症のお子さんを対象に、音声出力会話補助装置を用いたコミュニケーション行動の促進について研究しました。これが私の研究の原点となりました。その後、筑波大学大学院に進学し、知能検査の開発・活用的一端に関わるとともに、PCを活用した学習支

援の研究にも取り組みました。

学生時代の思い出

大学時代に特に打ち込んだのが、ダウン症児・者への余暇支援を行う学生ボランティアサークルの運営でした。熊本大学だけでなく近隣大学の学生も参加する共同サークルで、当時はボランティア学生だけで100名を超えていたと思います。毎週土曜日の活動を中心に、運動会、キャンプ、クリスマス会などを企画・運営し、忙しくも充実した日々を過ごしました。保護者の方々にも温かく接していただき、子どもたちだけでなく、その生活を支えるご家族とも深く関わることが

できました。この経験は、今の自分を形作る土台になっています。

大学院進学後は、発達障害のある子どもたちへの個別学習支援や屋外活動での支援に取り組みました。週1回のケースカンファレンスでは、子どものアセスメント結果や背景情報をどのように支援に活かし、その効果をどう評価するのかを検討しました。ここで学んだ「支援は、子どもの理解から始まる」という感覚は、現在の教育・研究活動にも強く残っています。

現在の研究について

現在は、知的障害や発達障害のある子どもの学習支援を中心に研究しています。特に、ICTを活用しながら学習過程を分析し、子どもがどの段階でつまづいているのか、その困難さを軽減する手立てを検討しています。学習に困難を示す子どもには、認知処理能力の強み・弱みが学習のしやすさに大きく影響していることが多くあります。そのため、認知的負荷をいかに低減し、本人の強みをどのように活かすかを重視しています。また、一人ひとりの認知処理特性を把握するための知能検査の開発にも携わっています。



大学時代 中高生とのキャンプにて



個別学習場面にて

教育相談 遊びを通じたことばの学習



現在の夢や目標

就学前の子どもも、小学生から高校生も、大学生も、一人ひとり異なる存在です。だからこそ、自分に合った方法で学ぶための選択肢があることが大切だと考えています。私の大きな目標は、「こうあるべき」「こうしなければならない」という固定観念を乗り越え、誰もが学習にアクセスできる環境をつくることです。そのためには、社会の側にある障壁を見直すこと、自分の強みや苦手を理解してよりよい選択ができること、自分の学び方を調整していく力を育てることが重要だと考えています。

その足掛かりとして、学習に困難を抱える子どもたちが「自分の強みを活かして学ぶ」ことを経験できる場をつくりたいと考えています。教育相談では、一人ひとりが自分の得意な方法を知り、それを学習に活かすことを支えています。昨年度はゼミの学生とともに、発達障害のある子どもたちとMinecraftを用いた協働活動を行いました。今後も学校現場と連携し、子どもたちと学生それぞれの強みを活かした活動に取り組んでいきたいと考えています。

研究以外で熱中していること

研究以外で熱中していることは「子育て」です。我が家は4人家族で、妻と5歳の息子と3歳の娘がいます。子ども達は大変手が掛かることも多いですが、それ以上に愛おしい存在です。発達や学習に関わる研究領域にいるため、子どもの日々の成長をつい観察してしまいます。毎日の姿には驚きがあり、我が子からも新しい視点を学んでいるところです。二人には、それぞれの道を健やかに歩んでほしいと願っています。

学生へのメッセージ

略歴の通り、私は紆余曲折を経て今に至りました。その時々で、挫折や絶望に近い気持ちを抱いたこともあります。それでも今振り返ると、すべてが無駄だったわけではないと思います。ただし、それは一人で乗り越えたということではありません。つらい時に支えてくれる人がいたことが、何より大きかったと思います。何かを始めるのに遅すぎるということはありません。思い悩む時は、誰かに「ちょっと話してみる」ことを大切にしてください。家族、友人、仲間、教職員、アルバイト先、学内の学生支援サービスなど、話せる相手は一人ではありません。この文章が、誰かとつながる小さなきっかけになれば幸いです。

私のお気に入り

息子がポケットモンスターに大ハマリしており、朝6時にポケモンカードゲームをすることが日課です。



LD学会
奨励賞 受賞



医学部 疫学講座

Department of Epidemiology



横道 洋司 教授

2005年山梨大学医学部卒業。
2011年山梨大学社会医学講座助教。
2023年より現職。



学生が実習成果を発表

病気の原因を探り、予防する

医者の卵を育てる

私たちは、将来医者になるために勉強している医学部医学科の学生さんに、公衆衛生という分野を教えています。公衆衛生は、法律や社会のしくみ、組織を通じて人の命を守るという、医療者の大切な仕事のひとつです。

人間の寿命を最も延ばしたのは、医者のメスや抗生物質ではありません。例えば清潔な飲み水の確保、下水の処理、手洗いの習慣は、感染症による乳幼児の死亡を激減させました。ワクチンを接種することで、子どもから大人まで、感染症による死亡が劇的に減りました。人類が長く嗜好してきたタバコが、色々ながんを引き起こしていることを突き止め、喫煙率を下げたのも公衆衛生です。私たちは、医師になる若者とともに、公衆衛生がどのように命に貢献できるかを学んでいます。

疫学研究をする

社会のしくみや組織で人の命を守るには、どのような手順を取れば良いでしょうか。それには、まず何が病気の原因となっているかを突き止め、それを基にルールを作り、原因を減らすことです。そして作ったルールに則って、公務員、医療者、教員、ビジネスパーソン、都市計画をする人、

ITエンジニア、ジャーナリスト、そして市民自身が実際に病気を減らしています。

私たちは、医学部の中で、一連の公衆衛生活動の始まりとなっている、病気の原因を突き止める仕事をしています。これを疫学研究と言います。疫学研究で得られた知見は、エビデンスと呼ばれ、今では会話の中に登場する用語となりました。

疫学研究を行うために、私たちはデータを集めて、コンピュータを使い解析します。その過程で、例えば次のようなエビデンスを見出しました。

- ・乳幼児のワクチン同時接種は、単独接種と同様に安全である。
- ・1.5歳～3歳へのインフルエンザワクチン接種は感染を21～31%予防できる。
- ・痩せている高齢女性は、標準体重の方に比べて認知症リスクが高い。
- ・秋生まれの子どもはアトピー性皮膚炎の発症率が最も高い。

これらのエビデンスの中には、医師が治療する際に参考にするガイドラインに引用され、現在の治療方針決定に役立っているものがあります。

新しい研究を立ち上げる

私たちは今、免疫機能によって起こる糖尿病(1型糖尿病)の患者さんとその主

治医からデータを集め、解析する準備をしています。この病気を持つ患者さんは日本に10～14万人います。データ解析により、この病気の合併症で苦しむ人できるだけ少なくしたいと考えています。この患者さんに、健康な人と同じくらいの寿命の長さを持ち、同様に人生を送ってもらうことは、医療者の長年の夢です。この課題に貢献するエビデンスを生み出すため、全国の医師と連絡を取り、研究を進めています。

医学部、研究へのお誘い

この記事を読んでもし興味を持たれたら、ぜひ大学や大学院に入学してください。講座に遊びにいらしてください。一緒に公衆衛生を学び、人のために役立つ疫学研究をしましょう。お待ちしております。



国際学会で

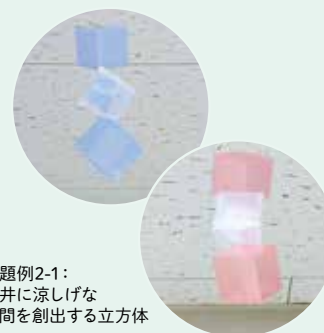
Lesson #40

講義紹介

造形計画演習

(映像メディア表現を含む。)

未来への造形思考で生活を豊かに



課題例2-1: 天井に涼しげな空間を創出する立方体



課題例2-2: レンガタイルの写真を貼り込み、風景に溶け込ませた立方体

担当教員



教育学部
芸術身体教育コース
美術教育系
井坂 健一郎 教授

生活の中で困ったことや「こんなものがあつたらいいなあ」などと思ったことはありませんか?この授業ではそんな身近な問題を「造形」という視点で解決していきます。

生かして解決することができるようになります。

誰も知らない、誰も考えていない未来の「造形思考」をつくりだす喜び

近年、「アート思考」「デザイン思考」という言葉をよく見かけるようになりましたが、この授業ではただ単にそのような思考を学ぶのではなく、新たな視点での「造形思考」を学生自らがつくりだし、担当教員を含めた受講生間でのディスカッションを通して未来の社会に役立つアートやデザインを創出します。

造形思考を活かした課題解決型学習(PBL)

この授業では複数の課題を設定しています。「身近なものや風景の不思議を写真に収める」「身近なものを何かに見立てる」「既製品の意味について考える」「場と既製品の関係について構想する」「場と物体の関係を生かして空間をつくる」「アートプロジェクトの企画を立案する」等についてリサーチワークを通して学習していきます。

授業での課題のいくつかを紹介します。
課題例1:「ゆらぎ」をテーマに身近なものや風景を見つめ直し写真で表現する

この課題は身近なものや風景を「ゆらぎ」という視点で見つめ直し、それを写真で表現することにより新たな気づきを得る目的で行います。



写真課題「ゆらぎ」

課題例2:「立方体」という構造を多様なものの見方から捉え直し表現する

この課題は「立方体」という構造を基本にして、造形的な見方・考え方を働かせながら感性や想像力を養うものです。



課題例2-3: 指に付けるファッションとしての立方体

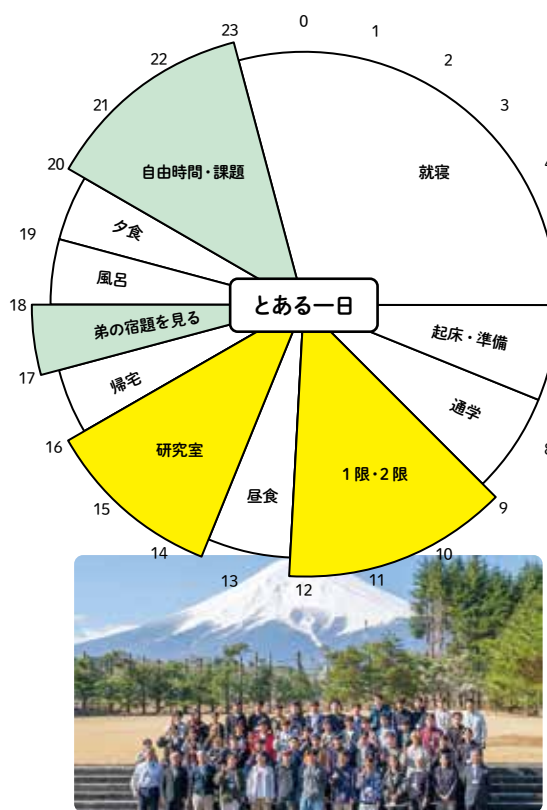
課題例2-4: 食材を使った食べられる立方体

造形思考を養うことで、皆さんの日常が豊かになることでしょう。

マイハウスプランで広がった 研究職への夢



工学部 工学科 応用化学コース 2年
出身県：山梨県
出身校：北杜市立甲陵高等学校
志賀 史佳さん



総合工学コース 記念撮影

工学部を選んだ理由は？

高校時代から理系科目が好きで、特に化学に興味を持っていました。進路について様々な分野を学んでいく中で「もっと化学を深く学びたい」という気持ちが強くなり、工学部を志望しました。総合工学クラスに入学後、1年次は幅広い工学分野を学びながら自身の興味や適性を見極め、現在は応用



総合工学クラス 授業風景

大学入学後に感じたギャップは？

高校では、個人差はあれど「勉強を頑張る」という空気感が強かったのですが、大学に入ると、勉強だけでなくサークルやアルバイト、趣味など学生のできることの幅が広がったのを感じました。自分の好きなことにも力を注ぎ、いろいろな過ごし方をしている人がいて、「大学って自由なんだ！」と思いました。

化学コースで専門的に化学を学べる環境にとても満足しています。

マイハウスプランに入ったきっかけは？

入学後に行われた説明会で興味をもったのが、1年次から研究活動に参加できる「マイハウスプラン」です。大学入学前から、「学ぶ」だけでなく「研究」に興味があったので、説明会後に行われた研



マイハウスプラン 活動風景



マイハウスプラン

癒しはありますか？

自宅ではレオパードゲッコー（ヒョウモントカゲモドキ）を飼っています。もともとは爬虫類好きの弟の希望で飼い始めたのですが、今では家族全員にとって大切な存在です。夜行性なので、夜遅くにアルバイトから帰宅した後も元気な姿を見ることができます。賢くて穏やかな性格で、そばに



私の癒しレオパードゲッコー

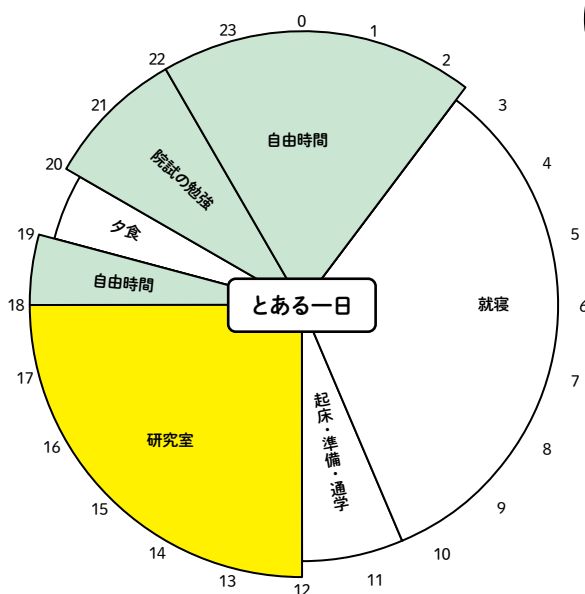


友人たちとの思い出の一枚

研究を通じて知見を広げ、 人として成長し続ける



生命環境学部 生命工学科 4年
出身県：大阪府
出身校：大阪府立生野高等学校
池上 翔一朗さん



友人たちとの思い出の一枚

生命環境学部を選んだ理由は？

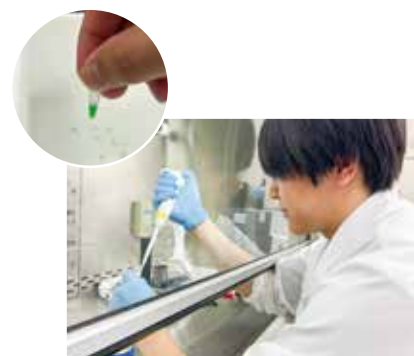
小中高でも環境問題や生物について考える機会がありました。より専門的に特に「微生物」の視点から環境問題に対して答えを見つけていることができたと思い、生命環境学部を選びました。学科選択では、生物そのものを深く学べる「生命工学科」を選択しました。未知な部分が多い微生物を研究することで、新しい可能性を広げられる点に魅力を感じています。

大学に入ってみてどうでしたか？

一言でいうと、「自由が増えた!!」と強く感じました。授業の取り方や生活スタイル、時間の使いなど、多くのことを自分で決める必要があります。自由度が高い分、責任も伴いますが、さまざまな経験を通して自分自身の成長を実感しています。

今、がんばっていることは？

現在は研究に力を入れています。先輩から引き継いだ微生物の研究に取り組ん



研究活動

でいます。難しいことが多く、まだ理解できていない部分もあるので、日々の勉強を積み重ねながら、先生や先輩方からのアドバイスを吸収し、少しずつ知識と経験を深めていこうと思っています。

大学に入って驚いたことやギャップは？

部活動やサークル活動が盛んなことに驚きました。多種多様なサークルがあり、それぞれ雰囲気や目的が異なるため、気になるサークルには実際に体験に行きました。そういった機会を通して、自分に合ったコミュニティを見つけやすい環境だと実感しました。

サークルについて

テニスサークルに所属し、週2回（水曜日・土曜日）活動しています。イベント時には30人ほどが集まることもあり、にぎやかな雰囲気の中で楽しく活動しています。無理なく自分のペースで参加できるのも魅力です。サークル活動は、大学生活の大きな楽しみの一つになっています。



最高の仲間と最高の景色



サークル活動

甲府キャンパス大学祭実行委員会



実行委員会集合

私たち大学祭実行委員会は、1年生から3年生まで約100人の仲間が集まり、学校全体を盛り上げる大イベントを創り上げています！

主な活動期間は大学祭前の約1ヶ月間。普段の部室でのワクワクする企画立案や準備から、キャンパス全体を駆け回る当日の本番運営まで、短期間でギュッと集中して最高の青春を駆け抜けます。学年を越えた縦の繋がりが非常に強く、アットホームで活気ある雰囲気が自慢です。「大学生活で何か大きなことを成し遂げ

たい！」「一生モノの熱い思い出と、かけがえない仲間に出会いたい！」そんな想いを持った方を大歓迎します。未経験からでも、それぞれの得意なことを活かせる輝くステージが必ずあります！

短い準備期間だからこそ、本番を終えた時に全員で味わう圧倒的な達成感と、そこで生まれた強い絆は一生の宝物になるはずです！

私たちの手で、まだ見ぬ最高に熱い大学祭と一緒に創りませんか？皆さんご参加を、メンバー一同、心からお待ちしています！

企画から運営まで実践できる、 学生主体のプロジェクト活動



メインステージの様子



サブステージの様子

- DATA —
- 部員数 : 約100名
 - 活動場所 : 部室
 - 活動日 : 大学祭前の約1ヶ月間
 - メール : gakusai@yamanashi.ac.jp



水泳部



部活の様子

自分のペースで続ける、 楽しく前向きな水泳ライフ



練習後の一枚



大学祭では焼き鳥屋を出店

みなさんこんにちは！山梨大学水泳部です。私たちは「みんなで仲良く、楽しく」をモットーに、それぞれの目標やスタイルに合わせて、いろんな形で水泳を楽しんでいます！

水泳部という「きつい練習をひたすらこなす」というストイックなイメージがあるかもしれませんが、当部活は全くそんなことはありません！部内には、大会に向けて全力で練習に励むガチな人はもちろん、健康のためにゆるく泳いでリフレッシュしたい人、さらには「泳ぐのが苦手だから少しでも克服したい！」という人まで、幅広い

メンバーが所属しています。部員それぞれの目的に合わせて、時にはお互いにアドバイスをしながら、温かい雰囲気のなかで自分のペースで取り組める環境が整っています。

主な活動としては、日々の練習に加えて、関東甲信越大会などの大会への出場、大学祭での模擬店の出店やOB会など、年間を通してイベントが盛りだくさんです！初心者から経験者まで、どんな方でも大歓迎です！少しでも興味を持ってくれた方は、ぜひ一度見学や体験にお越しください。

- DATA —
- 部員数 : 21名
 - 活動場所 : 緑ヶ丘スポーツ公園
スポーツ会館(屋内プール)
 - 活動日 : 水曜日・金曜日
18:30 ~ 20:00



下敷き

講義に絶対必須の物。過去に3回だけ家に置いてきた事があるが、能率が40%ダウンして眠くなる。無いと講義中起きてられない。今この成績があるのは、9割5分この下敷きのおかげ。

工学部応用化学コース3年

万年筆・インク

万年筆：パイロット カスタムヘリテージ92
インクボトル：パイロット 色彩雫 (いろしずく) 月夜
スケルトンボディとガラスのおかげでインクの美しさがよく映えるところが気に入ります。

工学部機械工学コース1年



分割キーボード Glove43tb

分割されているので肩幅に広げて使えます。胸が開くので毎日2桁時間を超えるPC作業を行う自分みたいな人間には体の負担を軽減できるのが嬉しいですね。持ち運びやすいのも長所です。

工学部コンピュータ理工学科4年



学生広報スタッフがりーポ

オキニアイテム

徹底調査

印伝グッズ

約10年前から1つ2つと増え、一番のお気に入り、ぞう柄のペンケースです。子どもから大人まで幅広い年齢層に人気の柄だと思います。

広報・渉外室職員

梨大のみなさんの生の声を
Googleフォームで募集させていただきました！
ご協力いただいた皆様
ありがとうございました！！



Kobayashi

Sakurai

私たち学生広報スタッフが
調査しました！

KINTOの水筒

形が可愛いし容量も丁度いいところがお気に入り。色々なカラーがあるのでプレゼントにもおすすめです。

総務課職員



asunosekaiさんの gfプレーン スコーン

さくほろっほろでまじで美味しい、食べた時の衝撃はすごかった！！
生命環境学部地域食物科学科2年

『ゆるキャン△』リンの 薪割り扇子

ハンディファンより軽くコンパクトで湿気に強い素材で長持ち。高校から使っています。
生命環境学部地域食物科学科2年



ラクバキ イージーサンダル ラップブラック

O脚改善で履き始めて、とても歩きやすく人生のベストバイです。
生命環境学部地域食物科学科2年



令和8年度山梨大学・読売新聞連続市民講座 「つなぐ～未来をつくる科学と社会～」

本学では令和8年度も読売新聞甲府支局との共催で、「つなぐ～未来をつくる科学と社会～」と題した全10回の連続市民講座を開催します。

聴講無料。本学の教員が専門の分野を図解等用いてわかりやすく解説します。

問い合わせ先

山梨大学教務企画課連続市民講座担当

電話：055-220-8043

FAX：055-220-8796

✉ koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

申込方法や詳細は、
本学HPで
ご確認ください。



※今後の状況により、開催方法等
変更となる場合があります。

開催日時・スケジュール 13:30～15:00 (開場 13:00)

	開催日	演題	所属学部	講師名
第5回	令和8年 9月12日(土)	その人らしく生きるを支える ～ICU看護師として考えたこと～	医学域	山田 章子
第6回	令和8年10月 3日(土)	町並み・集落の保存と担い手育成 ～重伝建地区における連携・協働の取組～	教育学域	田中 勝
第7回	令和8年11月14日(土)	抗生物質クライシスへの挑戦 ～微生物界の秘めたる「奇跡の宝箱」～	生命環境学域	山村 英樹
第8回	令和8年12月19日(土)	豊かな人生100年時代に向けて ～知って得する「排尿トラブル」解決法～	医学域	三井 貴彦
第9回	令和9年 2月13日(土)	大型藻と水草の世界 ～山梨県内の河川や水田での現状～	教育学域	芹澤 如比古
第10回	令和9年 3月 6日(土)	廃棄物が価値に変わる ～「捨てる」から「活かす」循環経済～	工学域	遠山 忠

山梨大学特色ある研究 PR展示

～大村記念微生物資源研究
フロウティラ～土から始まる
微生物×創薬～開催中！

2026.4.28 Tue.

甲府駅北口において、「大村記念微生物資源研究フロウティラ」に関する展示を新たに開始しました。フロウティラの創薬への取り組みを紹介するパネル展示や、フロウティラにちなんだオリジナルグッズがもらえるクイズを行っています。



「水素コンソーシアム LIGHT」に本学が参加

2026.6.10 Wed.

本学は、山梨県や複数の企業とともに水素コンソーシアム「LIGHT」に参画しました。本コンソーシアムは、水素の社会実装に向けた知見を結集し、具体的取組を推進する協働基盤として設立されました。



ブドウ栽培支援 ロボット実演会を開催

2026.6.12 Fri.

本学を代表機関とするコンソーシアムが主催したロボット実演では、AIによる果粒認識とロボットアーム制御を融合したフィジカルAI技術を活用し、ロボットが人間と同程度の精度で摘粒作業を行えることを実証しました。今後もロボット技術と栽培体系の両面から研究開発を進め、シャインマスカット栽培の省力化と高品質生産の両立を目指します。



ゼロエミッションみらいラボ・ 共創環境棟竣工記念式典を挙げる

2026.6.30 Tue.

クリーンエネルギー分野の最先端研究を推進する「ゼロエミッションみらいラボ」と、学生・研究者・企業・地域をつなぐ交流・共創拠点「共創環境棟」が完成しました。共創環境棟にはラウンジやテラス、250人収容の多目的ホールを備えています。両施設を核に、産学官連携を深化させ、地域の持続的発展とカーボンニュートラルの実現を目指します。



「山梨県におけるヘルスケア・セントラルシティ構想の推進に関する連携協定」を締結

2026.7.13 Mon.

オミックス（遺伝子やタンパク質、代謝物などの生体情報）・IoT・AIを活用した住民主体の健康づくりモデルの社会実装を推進するため、山梨県、中央市、株式会社Taomicsの4者は、連携協定を締結しました。産学官が連携し、「山梨県におけるヘルスケア・セントラルシティ構想」を推進することで、世界最先端の健康都市の実現を目指します。



私たちの化合物半導体で デジタル社会の未来を支える



住友電工
デバイス・イノベーション

SUMITOMO ELECTRIC DEVICE INNOVATIONS

山梨県中巨摩郡昭和町紙漣阿原1000
(本社:神奈川県横浜市栄区金井町1番地)

<http://www.sedi.co.jp/>



山梨共立グループ採用募集中

無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえる
プロフェッショナルを養成します。

病院・職場見学やインターンシップも随時受付中！

医療職を目指す方は
採用サイトをチェック！

Check Here!

山梨共立グループの
働き方がここに！
recruitkyoritsu.com



表紙イラスト



制作
大学院
医工農学総合教育部
生命環境学専攻
修士課程2年
倉田 真綺さん

大学院の研究で日々扱っている実験器具や細菌、
微生物などのモチーフを散りばめ、「微生物アート」
を中心に、無限の応用可能性を秘めた微生物
の魅力が表現されています。(広報・渉外室)

広報誌「Vine」のアンケート
にご協力ください！

抽選で10名様に
大学の
オリジナル
グッズ
をプレゼント！

※個人情報厳重に管理し、他の目的、用途では使
いたしません。
※プレゼントの内容は予告なく変更となる場合が
ございます。あらかじめ
ご了承ください。

アンケート回答締切
令和9年1月8日(金)

※当選者の発表はプレゼントの発送を
もってさせていただきます。



有料広告を募集します。

山梨大学広報誌Vineに
「広告」を出しませんか？

広報誌Vineは、毎年2回、全国の教育機関等に配布しています。ぜひ、貴社の広告、
PR活動にお役立てください。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

山梨大学広報誌 ヴァイン

2026 Summer vol.49



本誌に関する
ご意見・
お問い合わせ

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室

☎ 055-220-8006 ✉ koho@yamanashi.ac.jp



未来への夢を カタチにし続ける

大成建設は未来へのイマジネーションを働かせて常に挑戦しつづけています。
デジタルテクノロジーの分野でも業界の先駆けとなる技術を開発し、未来の新しい建設現場を目指しています。



動画視聴は
こちらから



大成建設の山梨大学OBから一言

専務執行役員 深澤 裕紀/サステナビリティ総本部部長兼GREEN×EXPO 2027担当(1985年 山梨大学 工学部土木工学科卒業)

チームに
必要とされる存在に
なれるよう、
自己研鑽に励みます



梶原 このみ
東京支店
[2025年卒業]

世界に負けない
新たな設計技術を
研究開発中!



穴倉 佳浩
原子力本部先端解析技術部 主任
[2019年卒業]

後世に残る構造物が
施工できるよう
設計業務に
取り組んでいます。



柴山 大明
東京支店
[2022年卒業]

ものづくりの過程に
最前線で携われる
ことが魅力です!



栗野 華衣
東京支店
[2021年卒業]

働き方改革に
率先して
取り組んでいます。



吉岡 南
土木本部作業所推進センター
[2020年卒業]

大規模な現場に
若手のうちから
携われることが
魅力です!



長谷川 浩朗
四国支店
[2020年卒業]

CMは
こちらから



採用サイトは
こちらから

地図に残る仕事。®



大成建設株式会社

For a Lively World

インターンシップサイト

